

平成25年4月26日発行

第161号

こうふ町 議会だより

町勢

世帯数/1,127世帯
人口/3,353人
(平成25年4月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

平成25年度予算2P~4P

予算の審議6P~8P

いっぱん質問 町政を問う ...11P~13P

私のひと言14P



江府小学校新1年生

教育の町未来へ!!

学舎中学校建設

一般会計 前年対比143.32%
43億1400万円

平成25年度3月定例会は3月11日から22日までの12日間の日程で開催された。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例の制定・改正等40議案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決された。一般質問は3名の議員が質問し、文化の力を町政に・句碑の建設について・江美砕石場の安全対策について・雪崩事故からの教訓・防犯カメラの設置・少子化対策で保育料の軽減と小中の教育環境整備等について、活発な議論がされた。特に中学校の建設に過疎債等ふくめ、約11億2千万円・プール移転に約1億6千万円の大型予算が組み込まれ、庁舎等調査特別委員会でも論議が交わされた。

農業集落排水事業は、杉谷地区が今年から事業が進み、公共的下水等インフラ整備ができあがっている。特に厳しい財政状況をふまえ、議員報酬を削減して「少子化対策・子育て支援」に充てて頂くよう決議した。今年5月26日全国植樹祭が開催され、エコツーリズム国際大会も秋に計画されるなど、元気が出る取り組みも行われる。そして、江府町発足60年を迎える節目の年でもあり、地域振興券（プレミアム商品券+15%）発行も計画している。

主な歳入は

行財政改革を進めると共に、中電等企業の固定資産税の収・交付税を中心に増額の歳入予算を組み込んでいます。

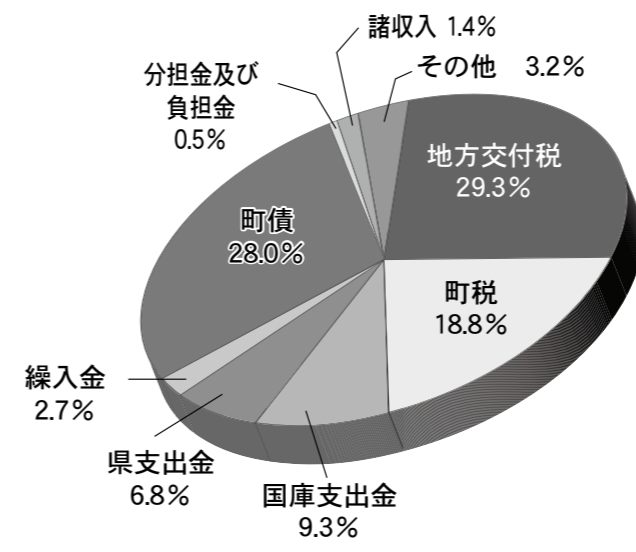
◎町税	8億1146万円
◎固定資産税	6億7634万円内(中国電力5億600万円)
◎地方交付税	12億6500万円
◎国庫支出金	4億0008万円
◎県支出金	2億9103万円
◎繰入金 (基金繰入金)	1億1606万円
◎町債	12億0820万円

主な歳出は

財政健全化を図り、50年以上経過した中学校建設に大型予算を組み、少子化対策・住民福祉の充実・地域振興券の発行等元気が出る予算組です。

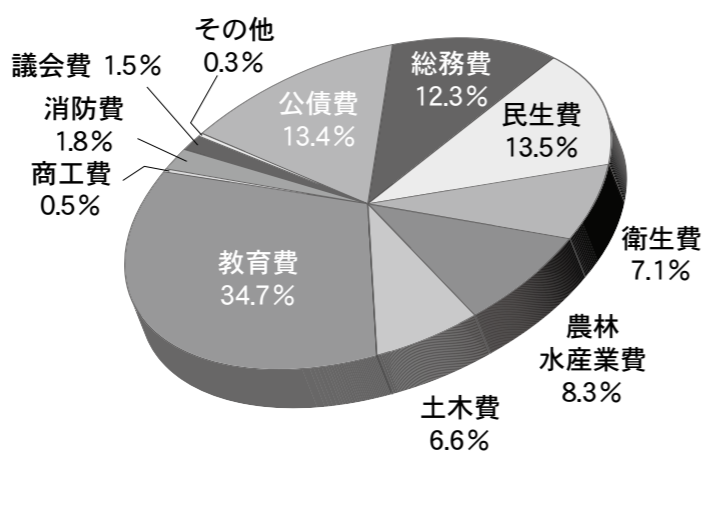
◎中学校校舎建設費	10億8305万円
◎プール移転費	1億5964万円
◎特産品振興事業 (道の駅を整備する)	300万円
◎公債費償還金	5億7874万円
◎町道洲河崎下安井線改良	1億3009万円
◎地域おこし支援事業 (都市からの協力隊募集派遣)	573万円
◎地域振興事業 (15%上乗せ商品券)	150万円
◎3町衛生施設組合負担金	8874万円
◎がんばる地域プラン支援事業補助金	554万円
◎国民健康保険特別会計繰出	4118万円
◎町政60周年記念事業 (記念式典)	98万円
◎県道維持連携共同事業	6579万円

歳入



一般会計+特別会計
 =60億6,347万円
 平成25年3月末現在人口 3,353人
 町民1人あたり180万8千円
 世帯数:1,127戸
 1世帯あたり:約538万円
 町予算が使われる予定です。

歳出



◇総務費	5億3029万円
◇民生費	5億8173万円
◇衛生費	3億0406万円
◇農林水産業費	3億5905万円
◇農工商費	2319万円
◇土木費	2億8455万円
◇消防費	7585万円
◇教育費	14億9490万円
◇公債費	5億7874万円
◇議会費	6609万円

特別会計 (15会計)

総額17億4,938万円

(対前年比 2,586万円増額)

▽住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億570万円
▽国民健康保険特別会計(事業勘定)	4億560万円
1月に県下市町村国民健康保険広域化支援方針が改定されて、平成27年度には制度改革が行われます。国民健康保険運営協議会で議論をされたい。	
▽国民健康保険特別会計(施設勘定)	2億4062万円
江尾診療所が移転開設して13年修繕の必要が出ていますが、看護師確保の必要性に迫られています。診療所の運営体制を含め検討されたい。	
▽介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	5億3675万円
地域包括支援センターが中心で、施設・在宅介護等各事業所の連携を図る。	
▽介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)	2億670万円
▽介護老人保健施設特別会計(あやめ返済)	5億096万円
▽後期高齢者医療特別会計	5億111万円
▽索道事業特別会計	7億614万円
3年前の雪崩事故の教訓を活かし引き続き安全・安心なスキー場を目指す	
▽簡易水道事業特別会計	9億776万円
▽農業集落排水事業特別会計	1億9047万円
▽林業集落排水事業特別会計	5億540万円
▽特定環境保全公共下水道特別会計	8億092万円
▽江尾・神奈川・米沢財産区特別会計	9億358万円

日野町江府町日南町衛生施設組合H25予算

○歳入歳出総額 5億77万円 (対前年263.8%)

平成25年度各町負担金

☆くぬぎの森《ごみ処理》 ☆清化園《し尿処理》

日野町	6645万円	2271万円
江府町	6525万円	2201万円
日南町		2927万円

『平成25年度主な事業』

○老朽化した焼却場「くぬぎの森」・し尿処理場「清化園」
両施設整備に重点を置き、各町の負担の軽減を図った予算組となっています。

日野病院組合議会H25年度予算

○病院事業会計 14億9560万円

- ・外来入院患者数の減少対策をする
- ・磁気共鳴診断装置(MRI)更新 1億円

○在宅介護支援事業会計 6913万円

- ・利用者収入30%上積みで予算作成。

○診療所事業会計 1931万円

- ・黒坂二部診療所患者数の減少対応が必要。

○介護老人保険施設事業会計 4億1566万円

- ・「老健 あやめ」入所者の増員見込む。



上原 二郎氏



越峠恵美子氏

町議会議員として永年にわたり、地域の振興発展及び住民福祉の向上に尽力され、功績を讃え表彰されました。

全国議長会
自治功労表彰
(在職15年)



砂原 和省氏

平成25年3月19日から平成29年3月18日までの4年任期です。

監査委員再任

議会改革調査特別委員会

平成25年3月15日

議員報酬について議論を重ね、行財政改革による経費削減対策を講じる必要がある、平成25年4月から5%削減を決めた。削減した報酬は「子育て支援」に充てる事を決めた。

議会政治倫理審査会報告

調査結果

平成25年1月18日議長より調査請求があった案件について、1月30日・2月15日に審査会を開催し調査した。調査の結果、平成24年4月26日明德学園入園式での日野尾優議長の発言は江府町議会政治倫理条例第1条「人格と倫理の向上に努め、いやくもその地位による影響力を不正に行使用して、自己の利益を図ることがないように」という文言には抵触しないと判断する。また、「署名妨害ともとれる発言」に対しては選挙管理委員会での判断とし、当審査会では審査は行わない事とする。なお、今後今回のような事案は議会内での審査をいただきたい。

継続審査

審査会の結果報告を受け、議会改革特別委員会にて継続して、調査する事を決めた。

陳情の審査結果

件名	提出者	審議結果
安倍内閣にTPPへの参加断念を求める意見書提出を求める陳情	農民運動 鳥取県連合会	趣旨採択
年金2.5%削減中止を求める陳情	全国年金者組合 鳥取県本部	不採択
生活保護基準の引き下げをしない事の意見書提出を国に求める陳情	鳥取県生活と健康を守る会連合会	趣旨採択
生活保護費の基準引き下げをしないよう国に求める意見書提出の陳情	鳥取県社会保障推進協議会	趣旨採択

庁舎等調査特別委員会 (中学校建設)

平成25年3月15日

前回委員会以降の進捗状況について調査した。

【施設について】

1階には200人収容の多目的ホール・音楽室

3階には図書室・パソコン教室が整備される予定。

- ・敷地内山側に防災壁
- ・太陽光発電(20kW)
- ・全教室冷暖房完備

※校舎と町体育館の1階からの渡り廊下でつなぐ。

【財源について】

国費 2億2878万円
 過疎債 10億710万円
 町費 4355万円

江府町課室

設置条例一部改正

旧課名

新課名

- ◇企画政策課→企画財政課
- ◇町民生活課→住民課
- ◇産業振興課→奥大山まちづくり推進課
- (教育委員会)
- ◇社会教育室→社会教育課

議員提出議案

江府町議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

行財政改革による経費削減のため、5%削減を決めた。

議員報酬の5%削減を「子育て支援」に充てる。



予算の審議

一般会計

企画政策課

Q 江府中学校の建設予定が発表になっているが建設工事はいくらかかるか。

A 中学校建設は11億5000万円、プール建設費1億5000万円を考えている。

Q 今年度から始まる地域おこし協力隊事業は。

A 都市部から江府町内に移住していただき、農業のお手伝いをする事業で、1年更新の最長3年計画です。

Q 昨年までであったにここに事業は。
A 各課で総括され、継続する事業「ホットサロン」地域支援補助金「他4件75万円が予算化されている。

町民生活課

Q 今年度の主な固定資産税は。

A 総額6億7634万円が主な事業所の予定額は、中国電力㈱5億6000万円、㈱グリーンステージ497万円、サントリープロダクツ㈱4500万円です。

農林課

Q 奥大山ブランドについて。

A 今年度から「奥大山米」を含め、町が農産物を中心にブランド化に力を入れていきます。

農業委員会

Q 農業委員会の定数については。

A 定数の削減に向けて検討して行きたい。

産業振興課

Q 新しく道の駅の建設が予定されているが。

A 県の事業として平成26年度完成に向け、「みちくさ」との調整も図りながら進めていきます。

Q 南大山展望台の観光案内板の設置はいつするのか。

A 早急に検討し実現したい。



現江府中学校



移動販売車

福祉保健課

Q 買い物弱者が増えているが対応は。

A 訪問移動販売車に運行費等1/3補助をだしている。県と町でも体制づくりを検討していきます。

めて武庫地域を福祉地域に考えています。老人センターは指定管理へ検討中です。

Q 緊急通報設置世帯は現在何件か。

A 71軒で設置。

Q 生活保護受給者について。

A 現在15名程度。

奥大山スキー場管理課

Q 安全、安心のスキー場についてどう考えるか。

A 安心、安全は最大の課題であり雪崩防護柵、監視カメラ、パトロール具のチェック、研修などを行っています。スキー客も増え、新しい人にも来場いただき明るい兆しも見えてきました。

建設課

Q 植樹祭会場の「恵の森」へ通じる道路の舗装修繕は。

A 県に相談し、早急に対処したい。

教育委員会

Q 教育委員会としての今年の方針を改めて伺う。

A 中学校建設に向けて本格的に取り組んでいきたい。秋にはサントリーの美術展を米子美術館で本町60周年記念として開催したいと考えている。



リレー植樹「恵の森」



みちくさ

特別会計

住宅新築資金の滞納額は

Q 住宅新築資金の滞納額は現在の位あり、又その対応は。

A 最終償還は平成31年であり総額1660万円の内約960万円が滞納金です。徴収には直接滞納者のところへ出かけ少しずつでも収めてもらうよう納税に努めています。

地域へ健康調査の結果は調査した地域の報告し、病気の予防の為に食事や生活環境などの改善に役立てています。

診療所の状況は

Q 医師2名体制に対する取り組みは。

A 現在、鳥大医学部より医師を派遣して頂き、患者数の増加に対応しています。今後は、常勤医師の2名体制が必要と考えていますが、鳥大医学部の体制もあり平成27年ぐらいに実現したいと考えています。

介護保険は

Q 高齢化率が40%を超えてきたが介護者の状況はどうなっているか。

A 現在、当町の65歳以上の人数は1358人です。施設入所されている方が77名、特別養護施設グループホームに入所の方が16名、在宅の方が169名となっており合計で介護認定者は292名となっています。今年度の保険給付費は5億1550万円で昨年度より3660万円増加しています。この要因は施設入所者が増加しており今後もこの傾向が続くと考えています。

常に意識を高めていききたい。

Q 第1リフトの現状は。

A 詳細に点検した結果、オーバーホールを行えば当分は今のリフトを使えるかと判断しています。

下水道の状況は

Q 杉谷地区の農業集落排水事業が終われば、今後は個別合併浄化槽の設置が残るが現在の状況は。

A 個別合併浄化槽については、対象地区に説明し希望があれば行っています。費用は、5人槽100万円位です。ただ個人負担は公平を期す為、27万円としています。

国民健康保険は

Q 国民健康保険の基金はどのようになってるのか。

A 現在約1億円ありますが平成25年度に約7300万円取り崩す予定です。平成27年度に広域連合になると予想され、その時点で基金はなくなりますが。

Q 今年度に1400万円の医療機器の購入が計上されているがその具体的な内容は。

A 主なものは血液分析装置493万円、心電計430万円、心臓除細動器157万円です。その他、小さなものを合わせて予算化しています。

索道事業は

Q 雪崩等事故に対する体制は。

A 雪崩対策として、雪崩防止柵、監視カメラ、パトロール員のチェックなど行い、万全の態勢を取っています。今後も、研修などを積み



奥大山スキー場

A 鳥大医学部保健学科により行われた

Q 昨年行った地域の健康調査の結果はどのように活用しているか。

一般会計

予算特別委員会 参考意見

平成25年度江府町一般会計予算は、43億1400万円で、平成24年度予算額より143.3%増、金額にして13億400万円増となっている。新規事業の大きなものとして、中学校校舎建設、町民プール移転があげられている。

秋には、町制60周年記念行事も計画され、また、全国植樹祭の開催等、町あげて取り組む大きな行事、事業もあり、各事業の実施に一層の努力をお願いいたします。

総務課

(1) 町制60周年を記念し、秋には記念式典やまた、それに伴う事業も計画されているようですが、町内外のPRを努力されたい。

(2) 地籍調査は各集落のアンケート結果により実施されたい。

(3) 町内外に速やかに情報の提供をはかるためホームページ、防災無線を十分に活用されたい。

企画政策課

(1) 地域おこし支援事業として、都市地域から町内に移住し農林業、環境保全活動に従事する協力隊員募集。3年を限度に支援する新規事業により農林業の高齢化、後継者不足に明るい兆しが見えるよう期待したいものです。

町民生活課

(1) 現行の町営バスは、町民の生活の利便性に役だっているし、利用

者も増えている。栗尾、美女石地区にも交通の利便性を検討されたい。特に、通学児童がいるので、早急に対応されたい。

福祉保健課

(1) 住民健診率100%を目指して、住民の健康と予防に努められたい。

(2) 生活保護世帯は、全国的にも増えており、江府町でも年々微増の

農林課

傾向にあります。今後も生活困窮者の実態を把握し、自立促進に、より一層努められたい。

農林課

(1) 農業従事者の高齢化により、農地を守ることに困難な農家が増えている実態から農業公社の強化、がんばる地域ブランド等、新規就農者の確保、集落営農の組織づくりに一層努力されたい。

(2) 山腹水路の災害を防ぐ適正な管理ができるよう、水路改修に努力されたい。

有害鳥獣駆除事業、経営所得安定対策事業等、農業、農村を守る事業が予算化されているのが目立ちます。より効果的な事業となるよう一層努力されたい。

(3) 平成4年から20年かかった南大山基幹農道(宮市〜根雨原)がついに完成。4月供用開始される予定ですが、事故なく皆に愛される道路とな



南大山基幹農道開通式 (柿原地内)



ひなまつりコレクション見学

- (4) 全国植樹祭(5月26日開催)の事業による周辺整備と併せて、式典会場までの道路事情が悪く、舗装・修繕の必要があるので、検討されたい。
- (5) こんにやく芋、大山

ることを願います。

(1) 産業振興課
スイカ、奥大山コシヒカリ等、奥大山ブランド開発に努力されたい。

(1) 特産物直売所みちくさの隣接地に、平成26年度完成予定で、県が道の駅を整備されるよ

うだが、商工観光と地域おこしの新しい拠点となるよう努力されたい。

(1) 教育委員会
不登校、いじめなど児童・生徒の置かれて

いる環境に対応するための支援を行うスクールソーシャルワーカーを今年度も引き続き配置され、実態を早く改善されたい。

(2) 小学校の教室に空調設備を設置し、よりよい環境づくりに敬意を表します。

(3) 中学校校舎建設と町民プール移転事業が、いよいよ始まります。教育環境整備と児童・生徒のためにもよりよい学舎となるよう期待したいものです。

(4) 町制60周年記念行事の一つとして、秋にはサントリー美術館所蔵の美術展が、米子市と共同で開催される予定。本物に触れる良い機会であり、多くの人に出かけていただきたい。

特別会計

国民健康保健(事業勘定)

鳥大医学部保健学科により行われた、地域の健康調査結果を生かし医療費の抑制に努められたい。

国民健康保健(施設勘定)

診療報酬は前年より240万円減の1億7570万円となっている。以前より検討課題である医師2名体制を実現するために、鳥大医学部と協議を続けられたい。

介護保険事業(保険事業勘定)

当町の高齢者数は1358人で高齢化率は40%を超えている。又、その内介護認定者は292名で約21%となっている。介護認定者の内、在宅介護者数は169名、施設

入所者は77名、グループホーム入所者が16名となっている。

今後とも施設入所者が増加すると予想されるが、診療所を中心にした在宅医療や、ホームヘルパーによる在宅介護の充実に努められたい。

住宅新築資金等貸付事業

平成31年が最終年度である償還金の残高は、約

1660万円となっている。その内、滞納分が約960万円あり引き続き回収に努められたい。

索道事業

今シーズンは、前年に比較し約800万円増の7200万円の収入が見込まれる。来シーズンの予算収入は約7600万円となっており、インターネットのホームページ等により、新規の来場者を掘り起こすよう努力されたい。

又、雪崩等事故に対するスタッフの意識や技能を高め、安全に対する万全の態勢をお願いしたい。

農業集落排水事業

杉谷地区の事業で集落排水事業は完了し、今後は合併浄化槽の設置が行われる。住民の要望を聞き取り事業を行うようお願いいたします。



老人福祉センター

一般質問

町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長の方針をたじた



田中 幹啓

文化行政について

問 文化についてどう考えておられるか伺う

答 文化は町を地域を豊かに潤し活性化にも必要と考えている

の生きがいづくりのために、短歌、俳句、川柳など日本固有の文化を含めた、様々な文化に目を向けて、学習の機会づくりと交流の場づくりを努めてまいりたい。

者が訪れるようになっていきます。文化の香る江府町をめざしながら、「江府町で暮らして良かった」と町民に感じていただけたよう取り組んで行きます。

町長答弁

今日まで日野郡の協議会では文化については話し合われてこなかった。話を聞き文化というものを提案したいと考える。たたら文化などでは自主的に組織されてきたが、本町でも下原重伴の「鉄

質問 500年の伝統の十七夜はふるさと江府町の誇りである。十七夜文化を句碑にしてはどうか。短歌、俳句、川柳を募集して、一つの文化、スポット、ゾーンを築いてはどうか伺う。

山秘書」もあり「たたら文化」がひとつの記録として残っている。文化をテーマにして呼びかけてみたい。
同時に日野郡の機運をたかめていただくことに協力もお願いしたい。

質問 今や日本は閉塞感が漂っていると表現できる。こんな時こそ、日本人固有の日本文化に目を向けてみる必要がある。今年度の予算では文化行政について、同時に中長期政策で文化的思想、文化力をどう活かす考えか伺う。

公民館講座を年間15講座開講し、文化祭等で発表し成果を上げている。文化協会のみなさんのご尽力による「ひなまつりコレクション」は江府町の文化振興に大きく寄与していると感謝しています。また町内には国県町の指定文化財が22ヶ所あります。文化財保護審

質問 今日日野郡ではたたら製鉄の文化が掘り起こされているが旧日野郡文化をまとめて見る必要がある。人物的にも池田亀鑑、生田長江、伊藤宜堂、大江賢治など素晴らしい文化人が日野郡から出ている。

日野郡で永く伝承するため、日野郡によびかけ、本町から発信してはどうか。元氣日野郡をめざし共同会議の発言をのぞみたい。

町長答弁 十七夜は本町の文化としても大切な伝統行事です。短歌、俳句、川柳という話もありましたが十七夜をどうPRしていくべきか一つの方法としては認識させていただきました。多くの写真家も訪れるこの祭を、実行委員会等を通じ、さらなる重みのある祭にしていきたいと努力したいと思えます。

町長答弁 文化が町民の生活を豊かに潤して地域活性化の原動力になってきたと考える。これからも町民

奥大山古道保存協議会も古道の復活をしていた

だいてあります。



溪流探索



三輪 英男

江府町財政について 廃業施設の対応について 雇用の受け皿について

問	交付税削減 影響は
答	過疎債等を利用して 取組む

質問 国の方針である交付税削減要請に伴う影響は、臨時財政対策債の必要と活用、ラスパイレス指数との関連、地方債の将来展望について伺う。

町長答弁

上下水道等の社会インフラ整備や医療福祉関係の継続的に行うべき事業については引き続き行います。また、国の経済対策事業も過疎債等を利用して効果的な事業進捗を目指します。臨時財政対策債は、様々な条件もあり、バランスや調整を考慮し

ながら利用したい。ラスパイレス指数は、国家公務員の給与削減に伴い、国から地方公務員給与の減額が求められており、それに伴う交付税の減額措置がされることになり

ますが、町は独自の給与削減を国に先駆けて実施していることから、引き続き情報収集に努め、必要に応じて対応して対応してまいります。地方債について、新年度で、中学校建築や経済対策補正予算等で過疎債等を予定してあります。起債の残高は一時増える見込みですが、よほどの大きな支出や変更がない限り、可能な範囲の基金等の調整で財政運営できると見込んでおります。

問	砕石現場の安心・安全は
答	県、関係者と情報 交換し取り進める

質問 江美砕石工業の現況から安心・安全の確保に對しどのような対策が考えられるか町長に伺う。

町長答弁

昨年7月に「破産管財人」が選任され、その後鳥取県を中心に一部地権者の大鉄工業等と地元集落の方々と協議を行ってあります。破産管財人や土地地権者の同意を得て、安全確保のためパトロールを行い、注意喚起のため看板設置し、地元集落には情報提供を行っております。今後の動向は、破

産管財人は財産処分を行いその中から安全対策費を捻出して、県・町・JR・大鉄と協議の上優先順位を、進めていくことになると思います。その推察を見ながら、県と町の役割を考えていきたいと思っております。



江美砕石跡地

問	雇用の場は
答	諸制度を利用して 雇用確保に努める

質問 地域の活性化の基盤である商工業の安定的成長と従業員の確保は、喫緊の課題で対策について町長に所見を伺う。

町長答弁

県西部地域の市町村では、「西部は一つ」との思いの中で、「企業立地フェア」に参加。また、「鳥取県西部地域企業立地促進補助金」制度を創設し、ごこの市町村に進出した企業も西部の市町村が支援していく体制が整いました。

新年度事業として地域活性化と商工業者支援のため、プレミアムが付いた「地域振興券」を発行しました。今後も、商工業者安定的成長と町内の雇用確保に全力で推進してまいります。



川上 富夫

奥大山スキー場管理課の充実を 防犯等監視・ビデオカメラの設置を 教育環境整備を

問	スキー場管理課の充実を
答	人定充実を図る

質問 雪崩事故から3年が経過し、スキー場管理課を設置して2シーズンを終えようとしている。

今シーズンは昨年より10%以上の伸びが、みこまれている。奥大山を中心に観光事業が広域化し、今1人では課の役割は果たせません。スキー場の整備またオフの時から、お客様に来て頂く仕組み作り等、人的増員をする時期ではないか。町長の所見を伺う。

町長答弁
本年のスキー場運営に

つきましては、スキー客・スノーボードのお客様も増えています。来場者2万人、7千万円以上の収益があり、上向きに転じています。これから広域連携を図る中、奥大山古道トレッキング等患者が増えています。職員体制についても、前向きに対応したいと思います。

問	ビデオカメラの設置について
答	防犯等総合堤に検討する

質問 県下で放射性廃棄物の不法投棄に対して、平井知事は予備費から支出しても監視カメラの設置を、発表されました。特に都会では監視カメラ

の設置も多くて、防犯に
ずいぶん役立っています。
町内でも盗難、行方不明等事故、事件の解決が
難しい状況です。警察等
との連携を図って、防犯
カメラ・ビデオカメラの
設置は必要と思います。
町長の所見を伺う。

問	保育料の軽減と教育環境整備を
答	保育料の軽減は検討・教育のまちづくりに取り組む

質問 少子化対策として保育児童の保育料軽減化また幼児教育充実は必要と考える。小学校から

1月に鳥取市で放射性廃棄物の不法投棄対策として県下市町村に15台が設置されることになりました。町内ではローソン・国道の通行車輛確認カメラ等数台です。子供たちの犯罪防止を含め、どこに、いつ、何台という事は申し上げられませんが、総合的に黒坂署等と連携をとってまいりたいと思います。

高校まで無償化が進んでいるが、江府町が先駆けで無償化まで踏み込んでいかか？図書館・図書費について検討された。教育環境整備についてですが、保育園での英語を取り入れた保育学習は、小学校・中学校へとしてとつながりが必要があります。中学校建設により、施設整備は出来てきました。保・小・中の連携

をしていく上で、先生への期待は大きく、更なるスキルアップをお願いしたい。町長・教育長の所見を伺う。

町長答弁
保育料は国の基準額に比べて低額となつて、480万円支援をしていますが、無償化は宜しくありません。子育ての環境整備をしっかりと議論をして、軽減化に対応したいと考えています。図書については、学校・町立図書館の図書費の補正も必要に応じ、対応していきます。

教育長答弁
保育園の幼児教育的側面から、英語と外国人に親しみを持つ様に「英語で遊ぼう」を月1回2、3時間行っています。連携を以て進めていきます。先生のスキルアップは、しっかりと進め、江府町教育に活かしていきます。江府町で育ち、学んでよかったですと感じる教育環境づくりに力を入れていきます。

ひとこと

地域と共に 楽しく活動

江府町商工会女性部
部長 河内登洋子

を町内外に積極的にPRする為の横断的機構改革があったと聞きますので、官民連携とつての町造りに、女性ながらの観点で町を盛り上げたいと考えておりますので、女性部事業に今後とも引き続き御協力宜しく願います。

商工会女性部の看板事業と言えば、500年の伝統ある夏祭「江尾十七夜」協賛、十七夜ティーシャツ販売事業があります。本事業は、平成6年から取組を開始し、「デザイン選定から販売まで一貫して女性部で行い、祭りに関わる全ての人に楽しんで頂き祭りを盛り上げる事を目標に毎年販売しております。

本年は、町政施行60周年と聞いておりますので、例年にもまして創意工夫を懲らして本事業に取り組みますので、事業協力宜しく願います。

また、江府町（奥大山）



江府町商工会青年部
部長 安部秀樹

青年部活動を通して

若き事業家として、何人にも侵されない自立した経営を確立し、地域の商工業を躍動させ、地域の一員としてその責任を自覚すると共に先人の教えに学びつつ未来に向けた活力ある社会を創出する。そして、創造力と行動力を生かし、地域発展の先駆者となり、新しいまちづくりの原動力となる。

私がこの商工会青年部の理念に賛同し、入部して、早十五年余り。主な事業は、経営勉強会、主張発表大会、町内事業などの活動だ。これらの活動を行うと共に、地域貢

献まちづくりを通じて地域と共に自社事業を発展させることが商工会青年部である。

この部会は、在籍出来るのは40歳まで。日々忙しく過ごし、気づけば、残り2年で卒部である。

これらの活動を通して、自らの成長と青年部の重さを感ずる今日この頃。今では、部員をまとめる立場となり、みな先頭に立つて歩んで行くことの難しさを勉強中だ。

活動は町内にとどまらず、県全域そして日本全国にわたる。さまざまな業種の人々と出会いふれあい、仲間となり人脈が広がることで、一社会人としてあるべき知識を学び、又経営者としての資質の向上にもつながる。

地元根付いた事業を行う上で必要な、大切なことを教えてもらった青年部に感謝すると共に、自らの経験で得たものをこれからの江府町を担う部員へと繋いで行くことが私の務めであると思えます。



▼3月の平均気温が平年より2度近く上回り、観測史上で一番早く「さくらの開花宣言」がありました。上ノ段広場の桜も満開となり、いよいよ春本番です。

▼デフレ脱却、経済の再生を推し進めるアベノミクスで日本全体に春がやってきたような感じがします。しかし大企業、都市部だけが潤うのではなく、中小零細企業、地方国民全体が潤ってほしいと願うものです。

▼我々議員の任期も3ヶ月余りとなりました。残された任期、住民の皆様が安心して暮らせる町づくりに全力投球する覚悟であります。

川端雄勇

議会広報調査特別委員会

- 委員長 川上 富夫
- 副委員長 森田 智
- 委員 川端 雄勇
- 委員 田中 幹啓
- 委員 日野尾 優